

# 都中英研だより

第 73 号

東京都中学校英語教育研究会  
会 長 刀根 武史  
(武蔵野市立第五中学校)

## 都中英研のさらなる充実・発展のために

東京都中学校英語教育研究会

会長 刀根 武史



令和元年度東京都中学校英語教育研究会（以下、「都中英研」とする。）会長を拝命いたしました武蔵野市立第五中学校長の刀根武史です。昨年度に引き続き本会の会長を務めることとなりました。

歴代会長の意をつぎ、都中英研のさらなる充実・発展のために努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、都中英研は東京都教育委員会研究推進団体の認定を受けた研究会です。会の目的は、中学校英語教育に関する事項を研究し、会員の識見の向上に努めると共に英語教育の振興を図ることとしています。特に、本会はこの目的を達成するために、次の5つの事業行っています。

- ① 各種研修会の開催  
(研修会、発表会、講演会等)
- ② 調査活動  
(コミュニケーションテストの作成とその分析、調査活動等)
- ③ 研究活動  
(英語教育に関わる基礎的かつ実践的な課題等)
- ④ 各種英語教育団体との連絡
- ⑤ 機関誌発行、本会の目的達成に必要な事業

事業の中でも「4」の「各種英語教育団体との連絡」では平成 29 年度から役員会組織に小中連携担当を設け、小学校の研究会との関係を深めています。

令和 2 年度に新学習指導要領が全面実施となる小学校では、3 年生から 6 年生までの学年で平成

30 年度の 4 月より英語の学習が始まっています。この時期に、小学校、中学校、高等学校が一体感をもって英語教育の改善・充実を図っていくことは、私たちに与えられた大きな使命です。

都中英研では、教員の授業力を向上させるべくワークショップを企画・開催していますが、毎年多くの先生に御参加をいただいております。引き続き、これからの英語教育改革を見据えながら、ワークショップの内容をさらに充実・発展させるよう努めてまいります。

都中英研が教育改革の先陣を切れるよう、日々研鑽を積み、前進していく所存です。関係の皆様のご御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに東京都の中学校英語科の先生にお願いがあります。ぜひ、都中英研の各部の一員になって、一緒に学んでいきましょう。そして、これからの日本の英語教育、東京都で英語を学んでいる子供たちのために、大いに力を発揮していきましょう。特に、令和元年 11 月 15 日(金)には第 43 回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会が東京で開催されます。ぜひ、多くの東京都の英語教育に関わる先生方に御参加をいただきますとともに、大会の準備・運営にもお力をお借りしたく、お願い申し上げます。

都中英研は、東京の子供たちの英語力向上のためにさらなる精進をしております。これからも皆様のご御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、御挨拶とさせていただきます。

# 第43回 関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 東京大会 案内

## 1. 趣 旨

これまでの英語教育の実践並びに英語教育の現状を見直し、英語教師自らの資質の向上と授業の改善・充実を図り、関東甲信地区英語教育の発展に寄与しようとするものである。

## 2. 主 題

「主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成 ～新学習指導要領全面实施に向けて～」

## 3. 期 日

令和元年 11 月 15 日 (金)

## 4. 会 場

- (1) 全体会場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 (小田急線参宮橋駅下車徒歩約7分)  
(2) 分科会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 各研修室

## 5. 日 程

9:10	9:40	10:20	11:30	13:00	14:15	14:35	16:35	
受付	開会行事	基調提案	記念講演	昼食	公開授業 指導・講評	移動	分科会・研究協議	閉会行事

### ○全体会記念講演

講 師：青山学院大学 教授 木村 松雄 氏

### ○公開授業

授 業 者：品川区立荏原第六中学校 指導教諭 岡崎 伸一

指導助言者：東京家政大学 教授 太田 洋 氏

## 6. 主題設定の理由

グローバル化が急速に進む中で、外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成は益々求められるところとなっている。特に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、多くの外国人の方が日本に来ることで、外国人との交流の機会がこれまで以上に増えることが予想される。

このような中、中学校においては令和3年度に全面实施となる新学習指導要領への具体的な移行期間への対応を迫られており、適切な移行措置への対応で、生徒の外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成に十分に努めていかねばならない。

そこで学習指導要領における外国語（英語）科の目標に照らし、東京都中学校英語教育研究会ではこれまでの実践を基に、「グローバル化に対応した英語教育の実践」を研究のテーマとして研究を進めてきた。特に、東京方式少人数・習熟度別指導を実施する中で、グローバル化に対応し、国際共通語としての英語力向上をめざし、コミュニケーション能力を育成する指導法と評価について、研究授業やワークショップ等を通して研究を進めてきたところである。

これまでの研究実践を受けて、東京大会では「主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」を研究主題とし、この主題に迫るため、3年間を通して育てたい生徒像の具現化に向け、①「語い」、②「評価・テスト」、③「読むこと、書くこと」、④「聞くこと、話すこと」の4点を研究の中核ととらえ分科会のテーマとした。また、今後、着実に新学習指導要領の全面实施に向けての取組が各校において推進されるよう「新学習指導要領全面实施に向けて」を副題とした。

## 7. 分科会テーマ

### □第1分科会 「語い」指導の充実

新学習指導要領では、小学校で600～700語程度、中学校で1600～1800語程度の語を指導すると示されている。小学校から中学校卒業までに指導する2200～2500語程度の語（語いリスト）指導の充実について研究する。

#### □第2分科会 「ペーパーテスト」における評価の充実

新学習指導要領での評価の観点である「知識・技能」及び「思考・判断・表現」を定期考査などのペーパーテストでいかに評価していくか、また、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の指導と評価が一体となったテストの在り方について具体的な授業展開を基に研究をする。

#### □第3分科会「読むこと、書くこと」の言語活動の充実

聞いたり読んだりして理解したことを基に、思考・判断したことについて、新たに読み取ったり書いたりすることを通して自分の考えや気持ちなどを主体的に表現する言語活動の充実について研究する。

#### □第4分科会「聞くこと、話すこと」の言語活動の充実

聞いたり読んだりして理解したことを基に、即興で事実や意見、感情等を伝え合いながら、会話を継続・発展させる言語活動の充実について研究する。

### 8. 参加申込

下のホームページアドレスより申込手続きを行ってください。※QRコードからもアクセスできます。

なお、現在、都内の学校に勤務されている先生方(含む小学校の先生、講師、教育委員会の指導主事・英語教育アドバイザー、東京大会事務局で認めた方)は、東京大会ホームページの「東京都の国・公立学校に勤務の方」からお申込みいただきますと参加費の4,500円は無料とさせていただきます。校務をご調整いただき、ぜひ9年に一度の東京大会にご参加ください。

## 第43回 関東甲信地区中学校英語教育研究協議会東京大会ホームページ

[https://amarys-jtb.jp/kanburo43\\_tokyo/](https://amarys-jtb.jp/kanburo43_tokyo/)



### 調査部報告

#### ○夏季ワークショップ

日時：8月20日(火) 会場：千代田区立九段中等教育学校

講師：玉川大学文学部英語教育学科 准教授 工藤 洋路 先生

講義：『コミュニケーションテスト』のスペックから問題作成へ ～読むこと・書くこと～

コミュニケーションテストの視点からテストを見直すこのワークショップも今年で7回目になりました。今回は、テストのスペックから問題を見つめ、改善点を探ることにフォーカスしました。例年と比べると、教職について数年の参加者が増えました。ご自身の評価の在り方を見直そうという強い意志で参加された方が多く、活発な意見交換を行い、他の参加者や調査部員、講師の工藤先生からのアドバイスに熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。一方で問題の改善点は見えるものの、いかにして改善していけばよいかに頭を抱え、どんな場面が自然か、誰に対して発信するのか等、日常起こりそうな場面からアイデアを捻出することに困難を感じる方もいらっしゃいました。アンケートには「このワークショップを悉皆研修にしてほしい」との声もあり、参加者にとって有意義な機会となりました。

### プロジェクトチーム部研修会

日時：7月31日(水) 14:00～16:30 会場：豊島区立明豊中学校

講師：第一部 飯沼 美千代 教諭(練馬区立大泉中学校)・原田 博子 主任教諭(文京区立第十中学校)

第二部 太田 洋 先生(東京家政大学 教授)

内容：第一部 PT部員2名が日頃、授業の中で実践していることをPT部の研究テーマ「新学習指導要領に向けての指導法」に沿って発表した。

第二部 今年も講師として東京家政大学 教授 太田洋先生をお招きし、「新学習指導要領に向けての指導法」について講義をしていただいた。『授業づくりの幅を広げる』『学習者が経験する過程』『具体的な授業づくりの流れ』など、授業改善につながる貴重なヒントを多々いただいた。いくつかの具体例を挙げてユーモアを交えたお話の中で下記がとても印象に残った。

- ・教師が行う(introduction)(ちょっと手助けをして)
- ・まずやらせる(活動)(Let students do it)
- ・振り返る+教える(練習)(reflection 1)
- ・またやらせる(活動)(Let students do it again)
- ・振り返る+教える(練習)(reflections 2)

夏季休業日にもかかわらず、参加者は100名だった。2時間30分という短い時間ではあったが、始終、猛暑日と同じような熱気が室内にも感じられるほど、充実した研修会となった。

## 事業部報告 ○サマーワークショップ

日時：8月9日（金） 会場：東京都教職員研修センター  
テーマ：『新学習指導要領に向けての最新情報および授業改善のポイント』  
講師：東京都中学校英語教育研究会  
刀根 武史 会長（武蔵野市立第五中学校長）  
吉村 達之 副会長・小中連携担当（三鷹の森学園三鷹市立高山小学校長）  
加藤 真由子 調査部長（調布市立第五中学校指導教諭）

内容：今年度のサマーワークショップは新学習指導要領に向けて、最も豊富な情報を持ち、最先端で研究をされている3氏の協力を得て開催された。まず吉村氏から小学校英語の推進状況について解説があった。小学校3,4年生の外国語活動、5,6年生の教科・外国語の開始により中学校の英語がどのように変わることが意図されているのか、まずは小学校の授業の推進状況を把握する必要がある。続いて加藤氏からは変わった後の授業のアイデアが次々と紹介され、参加者は生徒となりその効果を体験した。最後に刀根氏から英語教育に関する、国の動向、都の動向等に関して、最新情報の提供があった。参加者42名、真夏の暑い、熱い一日となった。

## 研究部報告 ○第17回研究部ワークショップ

### 第1回 8月6日(火) 大田区立志茂田中学校

- ①「新学習指導要領に向けた授業構成とやり取り」……橋本 晋作(葛飾区立中川中学校)
- ②「オーラル・イントロダクションを活用した指導」……一瀬 麻子(港区立六本木中学校)・原田 博子(文京区立第十中学校)
- ③「コミュニケーションにつながる文法指導の工夫」……島田 拓(足立区立入谷南中学校)・伊地知 義信(豊島区立千登世橋中学校)

### 第2回 8月20日(火) 品川区立荏原第六中学校

- ①「パフォーマンステストの使い方を考える ～指導と評価の一体化を目指して～」……森沢 俊彦(品川区立荏原第五中学校)
- ②「英語のユニバーサルデザイン授業 ～スムーズな小中連携を目指して～」……岡崎 伸一(品川区立荏原第六中学校)
- ③「生徒同士の会話(チャット)をより自然なものに近づける指導の工夫」……高杉 達也(都立小石川中等教育学校)

17回目を迎える今回は、2日間あわせて約120名という多くの先生方に参加していただきました。今年はいこれまでの3回から2回と実施日を少なくし、発表の仕方も一部変えました。1人が80分発表する場合に加え、2人で80分を同じテーマで発表する形を取り入れました。次に参加された先生からの感想を紹介します。「普段自分自身で考えていた活動や導入を共有し、先生方のアイデアを聞くことができ大変貴重な時間になりました。講義をただ聞くだけでなく、実践的な内容も盛り込んでいただいて、生徒の気持ちになって考えることができました。」

猛暑にもかかわらず、多くの先生方と日頃の授業実践を共有する時間をもつことができたことを感謝いたします。

## お知らせ

都中英研では、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で著名な\*Facebook を利用しております。研修会等の最新のお知らせを提供できるばかりか、投稿が可能なので、利用者間相互のコミュニケーションも可能です。ご関心のある方はアカウントを取得して、下記 URL にアクセスしてみてください。

<https://www.facebook.com/chueiken.tokyo/> \*Facebook はフェイスブック株式会社の登録商標です。

また、都中英研のホームページもぜひご活用ください。本誌「都中英研だより」や年報である「中英研会報」も閲覧が可能です。ホームページは下記 URL にアクセスしてください。

<http://www.chueiken-tokyo.org/>

## 編集後記

「都中英研だより 第73号」をお送りいたします。来年にオリンピック・パラリンピック大会、そしてその翌年には新学習指導要領の全面実施と、英語科教員にとっては大きなチャレンジの時です。出版部では、中学校英語教育に関わる先生方のお役に立てるよう、様々な情報を発信していきたいと思っております。発行に際し、ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

本誌に関するお問い合わせ先 >>>>

都中英研出版部長 今本 由美子（練馬区立大泉西中学校 副校長）  
TEL：03-3921-7101 FAX：03-5387-2292